

富富富 管理特報

令和6年4月8日

JAみな穂「富富富」ブランド化推進協議会

流通基準を遵守し、高品質で美味しい「富富富」ブランドを確立しよう。

～JAみな穂「富富富」ブランド化推進協議会の取組状況～

- 令和6年度県内の「富富富」の作付面積は2,496ha、みな穂管内では506ha栽培されます。

R6年産みな穂管内取組状況(主食用)

入善町	403ha	68 経営体
朝日町	103ha	18 経営体
合計	506ha	86 経営体
前年差	+212ha	+30 経営体

- **流通基準** (以下の基準を満たすものを「富富富」のロゴパッケージで販売)
 - ◎検査等級：1等
 - ◎化学合成農薬成分の使用回数：12以内 (県慣行レベルの3割減)
- **品質目標**
 - ・玄米水分：14.5%～15.0%
 - ・玄米タンパク含有率：6.4%以下 (水分15%換算値)

1 育苗計画 ～計画的な播種作業で健苗育成～

- 浸種及び播種日は、田植予定日にあわせた適正な時期とし、健苗育成に努めましょう。
- 育苗日数が長い老化苗を移植すると、初期分げつの発生が少なくなります。活力の高い苗に仕上げるため、**育苗日数は17～21日程度**を目安としましょう。

育苗計画の目安

浸種日	播種日	田植日	育苗日数
4/6	4/19	5/10	21日
4/15	4/26	5/15	19日
4/25	5/3	5/20	17日

2 品種名の表示 ～他の品種との区分管理を徹底する～

- 育苗作業及び田植時に苗を取り違えないよう、はっきり品種ラベルを貼付、掲示し、作業員全員が品種をまちがえないようにしましょう。
- ほ場には、「富富富」の立札の設置をお願いします。

3 育苗 ～健全な苗づくり～

- 「富富富」は「コシヒカリ」に比べ出芽が遅く、揃いにばらつきが生じやすいため、**浸種期間は「コシヒカリ」に比べ2日間程度長く**しましょう。(浸種開始時の水温は、適温(12.5℃)を確保しましょう。)
- 播種量は乾粃120g/箱を徹底しましょう。

本格作付け6年目！高品質で美味しい「富富富」ブランドの確立！

- 「富富富」の苗は葉令2.5葉で、草丈11～12cm、第1葉鞘長3cm程度とコシヒカリに比べ、やや小柄な苗に仕上げるのが目標です。
- 無理に草丈を伸ばすと軟弱苗となるため、換気を徹底し、がっしりとした苗づくりを目指しましょう。



苗の比較

4 苗箱施薬剤の散布 ～苗箱施薬剤は、除草剤と間違えないように散布～

- は種時覆土前～移植当日に、1箱当たり50gを均一に散布しましょう。

薬剤名	成分	対象
フェルテラ箱粒剤※	クロラントラニリプロール (1成分)	イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ニカメイチュウ

※密苗の場合は、10a当たり1kgになるよう50～100g/箱散布する。

例) 10枚/10aで100g/箱

5 基肥 ～適正な基肥量を施用する～

- 「富富富」の基肥量を多くすると品質・食味の低下につながるため、施肥量は「コシヒカリ」の**2割以上減**を基本とし、過剰にならないように留意しましょう。

施肥体系	肥料名	施用量の目安※
一発体系	富富富専用	28～32kg/10a (側条)

※大豆跡ほ場や堆肥を施用した場合は、1～3割減肥しましょう。

6 田植え ～適正な田植え作業の実施と初期の水管理の徹底～

- 5月15日**を中心(5/2半旬～4半旬)とした田植えを行いましょう。
- 栽植株数は**70株/坪以上**、植付深さは**3cm**としましょう。
- 田植後3日間ほどはやや深水とし、**活着を促進**しましょう。その後は**浅水管理**で水温を上昇させ、**分げつの発生**を促進しましょう。

栽培期間に使用できる**化学合成農薬の成分使用回数は12以内**です。

※「富富富の農薬体系」以外の農薬を使用する場合は事前に営農指導員にご相談ください。